

学 校 名	杉並区立松庵小学校学校支援本部
コーディネーター数	2人
ボランティア数	延べ約2,700人

□ 活動の概要

「あん子応援団」という愛称の支援本部が教育課程内の学校教育支援を中心に、年間を通して11種類のボランティア活動を運営し、活動をサポートしている。参加するボランティアは全て単年登録。学校の自然環境づくりを支援する「花と緑のボランティア」、土曜日の遊びと交流の場でさる「ワクワクサタデー実行委員会」、授業前の教室や校庭での「読み聞かせボランティア」、「朝遊び見守り隊」などがある。

平成7年の阪神淡路大震災を機に立ち上げた「松庵ワイワイクラブ」は地域の協力を得て防災体験を主としたデイキャンプと高学年の宿泊キャンプから始まり、平成25年から学校や震災救援所連絡会と共催で土曜授業の一環としてデイキャンプが開催されるようになった。

毎年4月に実施する全校児童と新一年生の保護者を交えた「ハレルヤ集会」ではこうした活動を紹介して新たな保護者の参加を増やしている。誰もが参加できるような活動内容で、単年登録にすることで地域、保護者の誰もが参加がしやすい活動とボランティアの数の維持にもつながっている。

『科学の祭典』と呼ばれる最大規模の授業支援が毎年行われており、「理科」の授業に特化した体験型の授業を通して、学びの土台を育む機会となっている。参加者が児童だけでなく、保護者、講師、教職員、地域の方々と広範囲にわたっており、祭典を通して地域協働活動を実現している好例となっている。

□ コーディネーターの役割

学校依頼による授業支援事業、地域団体による自発的な学校支援事業や各ボランティア活動の統括管理、情報交換や連絡調整を行っている。

□ 活動上の工夫や配慮等

ボランティアの確保に関しては本部主催の活動ごとに本部発信の募集チラシの定期的な配布で単発での参加、あるいは年間を通じた参加と選びやすい環境を作り出し、周知させている。また、活動報告も「あん子応援団通信」を定期的に配布することで周知に努めている。

本部員は各々の得意分野で活動してもらうようにしている。教育課程内で活動する際はあくまでも先生の思いを授業につなげ、支援するという姿勢を貫いている。

□ 活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

本部員が子供たちに名前を覚えてもらえる程身近な存在となるくらい本部活動が浸透していると感じられる。地域の人や校内に入る機会が増えた、と喜んでもらっており、学校からは授業支援には欠かすことのできない存在として頼られている。先生が変わっても支援本部の活動が変わらず授業支援ができていて一貫した教育に役立っていると実感している。